

- ⚠ (8) 調整器に通気口から雨水等の浸水により凍結することを防ぐため、適切に保護して下さい。

#### 4 使用前の点検

- (1) 調整器の取付工事終了時には、必ず液石法で定められたガス配管の気密試験を実施し漏れないことを確認して下さい。

- ⚠ (2) 周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアパージを行って下さい。
- ⚠ (3) この調整器の調整圧力範囲は〈主な仕様〉に示してある範囲内です。調整ハンドルを時計方向に回すと圧力が上がります。  
二段二次用調整器をご使用の場合は0.07MPaに調整して下さい。又、中圧用の燃焼器具をご使用の場合は、その燃焼器具の適切な圧力に調整して下さい。

#### 5 維持管理

- 🚫 (1) 安全のために調整器、容器等の周囲に物を積み上げないで下さい。
- (2) 定期的に漏洩検査、調整圧力検査、閉塞圧力検査の点検を行って下さい。
- (3) この製品の交換期限は製造後7年です。また、交換期限内でも性能に異常が生じた時は、新品と交換して下さい。

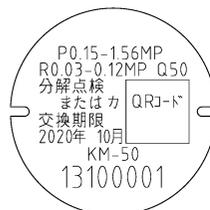
#### 6 QRコード表示案内

調整器(KM-50、70、100)の銘板にQRコードを印字しました。下記に銘板の図とQRコードの読み取り内容を示しますのでご確認ください。

【銘板の図】(例:可変型中圧調整器 KM-50 の場合)

006,KM-50,201310,202010,13100001,,,,カツラ,イチジヨウ,50K,603020056,,,

006	メーカー番号
KM-50	型式
201310	製造年月
202010	交換期限(202010:2020年10月を表します)
13100001	製造番号(13100001:2013年10月の1番を表します)
カツラ	メーカー名
イチジヨウ	商品名 イチジヨウ:二段一次調整器を表します
50K	容量(50K:50kg/hを表します)
603020056	弊社工場の管理番号



## LP ガス用

### 可変型中圧調整器

KM-40  
KM-50  
KM-70  
KM-100

## 取扱説明書

製造元・販売元

## 株式会社 桂精機製作所

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1  
アーバンスクエア横浜8階  
TEL 045-461-2334 (代)

### はじめに

このたびは、カツラ可変型中圧調整器をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は製品説明・安全のために・設置工事・維持管理・使用前の点検・QRコード表示案内の順に作成してあります。

お客様にLPガスを安全・快適に使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下、液石法と呼びます)、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を厳守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図って下さい。

なお、この説明書で 🚫 や ⚠ を付してありますが、🚫 は禁止、⚠ は警告又は注意を表したものです。

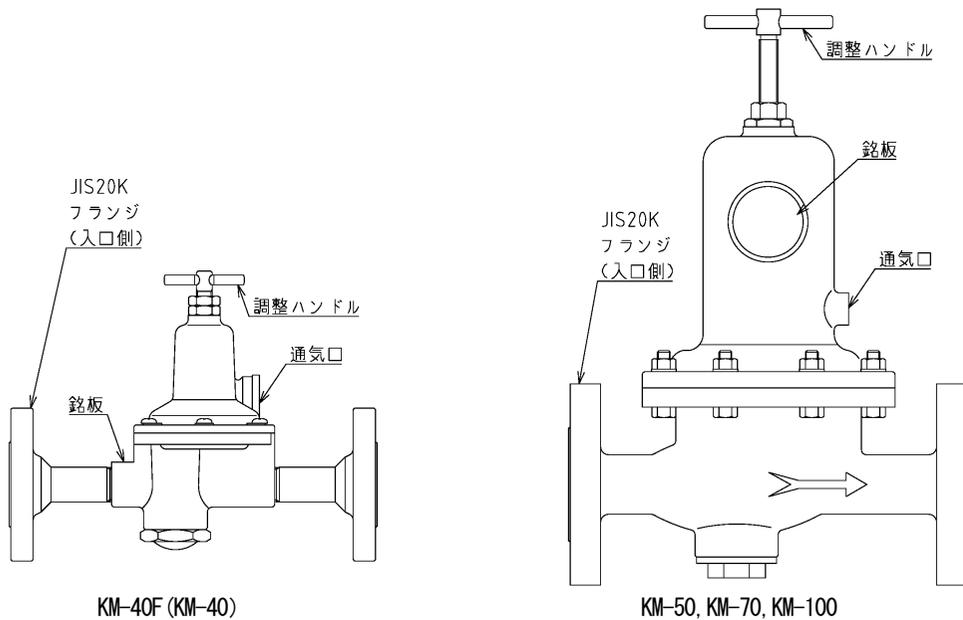
L Pガス用可変型中圧調整器（以下調整器と呼びます）は、下記に示す機種がありますので消費設備のL Pガス消費量に応じ適切な容量のものを選択して下さい。

この製品は出口圧力が中圧です。低圧の燃焼器具に使用する場合は二段二次用調整器が必要となります。

〈主な仕様〉

型式	KM-40	KM-40F	KM-50	KM-70	KM-100
容量	40kg/h		50kg/h	70kg/h	100kg/h
入口圧力	0.15～1.56MPa				
出口圧力	0.03～0.12MPa				
接続	入口	Rc1/2 20K 15Aフランジ	20K 20Aフランジ	20K 20Aフランジ	20K 25Aフランジ
	出口	Rc1/2 20K 15Aフランジ	20K 20Aフランジ	20K 20Aフランジ	20K 25Aフランジ
面積距離	102mm	230mm	190mm	190mm	250mm

〈各部の名称〉



- ⊘ (1) この調整器はL Pガス専用の調整器です。L Pガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないで下さい。
- ⊘ (2) この調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れ等による事故発生の原因となります。絶対に改造しないで下さい。
- ⊘ (3) この調整器は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、ものを当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないで下さい。



分解しない



- ⚠ (1) 調整器の取付工事はL Pガス設備士自ら施工して下さい。
- ⊘ (2) 火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないで下さい。
- ⊘ (3) 調整器は、有害ガス（例：アンモニア・亜硫酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場所には設置しないで下さい。
- ⚠ (4) 接続するフランジは、同一梱包のフランジパッキン・ボルトナット・ばね座金を使用し片締めにならないよう均一に締め付けて下さい。また、フランジパッキンには必ず液状のガスケット（スリーボンド1215推奨）を塗布して下さい。漏れを防ぐためです。塗布する際は、ガスケットをふでに取り、配管内に入らないように注意しながら均一に薄く表面に塗って下さい。
- ⚠ (5) ボルト穴の位置が調整器のフランジと合うように配管を行い、調整器側のフランジを回すことのないようご注意ください。
- ⚠ (6) 入口接続がねじ接続のものは相手方ねじの先端2山を残してガス用シールテープ（又は、ガス用不乾性シール剤塗布）を巻いて締め付けて下さい。シール剤が管路中に侵入しないよう注意して下さい。
- ⚠ (7) 調整器の出口直近にドレイン抜きを取付けて下さい。又、圧力調整のため0.2MPaの圧力計を取付けて下さい。

